

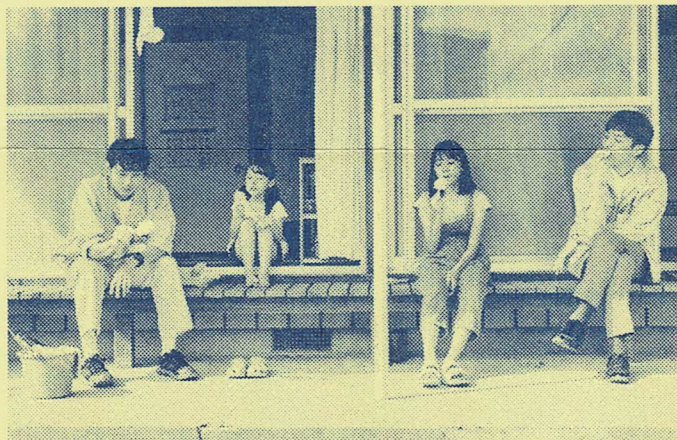
7月、9月
上映

みんなで観ましょう DVD鑑賞会

鑑賞する映画は「いつでも元気で」で紹介されたもの、新聞の映画紹介などを参考に事務局で選択しています。
事務局 03-5679-7130

7月16日(水)

渇水 (100分)



2023年製作 監督：高橋正弥
生田斗真／門脇麦／磯村勇斗他

葛西みなみ診療所5階ホール

14:00～ 入場無料

ストーリー 市の水道局に勤める岩切俊作は、水道料金を滞納している家庭や店舗を回り、料金徴収、水道を停止する「停水執行」の業務に就いていた。日照り続きの夏、市内に給水制限が発令される中、貧しい家庭を訪問しては忌み嫌われる日々を送る俊作。妻子との別居生活も長く続き、心の渇きは強くなるばかり。そんな折、業務中に育児放棄を受けている幼い姉妹と出会った彼は、その姉妹を自分の子どもと重ね合わせ、救いの手を差し伸べる。

解説 「凶悪」「孤狼の血」などを送り出してきた白石和彌監督が初プロデュースを手がけ、生田斗真を主演に迎えて送る人間ドラマ。作家・河林満の名編「渇水」を原作に、心の渇きにもがく水道局職員が幼い姉妹との交流を通して生きる希望を取り戻していく姿を描く。

8月は上映お休みです。鑑賞したい映画がありましたらご連絡ください。

9月17日(水)

葛西みなみ診療所5階ホール14:00～16:00 入場無料

DVD鑑賞会
特別企画

映画鑑賞後

2025原水禁世界大会報告会 &
戦争と平和を考えるつどい

(飲み物・茶菓子付き)

永遠なる平和を

—原水爆の惨禍— (23分) 1954年製作

1954年3月1日、太平洋上で米国の水爆実験により日本のマグロ漁船が死の灰を浴びた。乗組員たちは急性放射能症と診断される。汚染したマグロ、放射能雨などに恐怖する人びと。しかし政府は米国の核実験に協力を表明。平和を求める人びとの3月～8月までの熱き記録。



戦争のない未来を

—第三回原水爆禁止世界大会— (34分) 1957年製作

広島・長崎の原爆から12年、被爆者は死の恐怖に怯え、太平洋上では核実験が続いていた。原水爆への怒りは国民的な署名活動と募金運動となり、第3回原水爆禁止世界大会が大き



なうねりとなって準備されて行く。8月の11日間、東京で開催される世界大会は全国各地から、世界26ヶ国から集まり、核も戦争もない世界をと訴える。